



アエファ

AEFA 通信

アジア教育友好協会

〒168-0071 東京都杉並区高井戸西 2-14-49
電話 03(3506)7302 /FAX 03(3506)7301

鶴山小学校神田校長先生 ラオスのフレンドシップ校 イルン小学校を訪問

2月9日にイルンを訪問して帰国された神田先生からお手紙が届きました。出発前にはリコーダーを練習し、子供たちや村人との音楽交流を期待していました。

「帰りました。たいへんお世話になりました。イルン村の訪問は、たいへんよかったです。村でパーシーの儀式を受けたり、お昼をご馳走になりました。

でも、せっかくピアノやリコーダーを持っていったにもかかわらず、教えることができませんでした。

学校建設が完了してないため、ピアノやリコーダーが早すぎたようです。黒板、机、椅子、棚、教師用の机、書籍いれなどの設置がこれから必要です。

学校ができた後、必要なのは電気でしょう。水道や池も急を要すると思います。

子ども達へ教えるに、また機会があれば行ってみたいものです」

神田校長先生は来年、ベトナム&ラオスへ行く計画を、今から考えられています。

マリアズ・ベビーズ・ソサエティ

“生命”としての緑との触れ合い

マリアズ・ベビーズ・ソサエティは、渋谷区神宮前にある、0～9歳児を対象にした教育機関です。1986年にインターナショナルスクールとして開設。現在は、より発展したプログラムをとりいれ、子



どもだけでなく両親も含めた国際色豊かな環境で、大きな可能性を持つ種である幼児の心身ともにすこやかな成長のための教育をおこなっています。

松岡まりあ園長先生が、ラオス南部サラワン県ラオガム地区”イルン村”と”ドンコノイ村”の各小学校とのフレンドシップ協定書に、サインされました。

イルン村産のハイビスカスの挿木が、「緑の時間」担当の北川先生のもとで芽を出し、根も順調に育っています。6月には園庭に植えられる予定です。こどもたちがハイビスカスの観察日記を書いて、イルン村におたよりを出します。

毛利小学校 ケナフのおたよりが届きました！

江東区立毛利小学校5年生から、手作りのはがきに書いたおたよりが届きました。

学校に隣接する恩賜猿江公園内の学校菜園で、ケナフを種から育て、紙漉きをして作った、正真正銘の”手作りはがき”です。

このはがきを「自己紹介カード」にして、ラオス/ラオン村の子ども達に送ります。返信用の白いはがきも同封され、山岸悦子校長先生から谷川理事長に託されました。3月の出張時に持参します。

ケナフ紙で作った自己紹介カード



ケナフの紙漉き



手縫いの巾着 ～横浜雙葉生からタイの子ども達へ～

神奈川県横浜雙葉高校2年生は、総合学習の時間の中で「私たちがNGO!」をテーマに、様々な活動をしています。

2月16日、来年度に活動を引き継ぐ1年生に向けて、1年間の活動発表を行いました。

AEFA班のメンバーは、フレンドシップ校であるタイ・ソップワーク小の子ども達のために、文房具を入れる巾着袋を縫いました。目標は、ソップワークの全校生徒分(120枚)です。今回、28袋が届きましたので、足りない分は新2年生が引継いで作ってくれることになっています。

また、文化祭では、タイの山岳少数民族の小物を販売し、売上げはソップワーク小学校へのご寄付としてお預かりしました。



心のこもった巾着袋



成西器小学校 「西の子左義長まつり」 「左義長まつり」を雲南に発信！

2月17日、成西器小学校体育館で、2月24-25日の祭りに先駆けて、子供達だけの左義長祭りが行われました。この「西の子左義長まつり」は、地元の伝統文化を学びつぐ目的で、今年で5回



体育館に組まれた“やぐら”でお祭り太鼓

目の開催となります。子どもたちの作った色とりどりの絵行灯や短冊がつるされ、作りものも展示されました。子供たちは生き生きと櫓の上で太鼓を披露。もちつきや書初め大会、研究発表も行われました。

雲南のフレンドシップ校にも、チベット族のお祭りがいろいろあるそうです。お祭りの交流が始まります。



村岡小学校 壁新聞で日本の生活を紹介！

2月26日、5年生の総合学習でベトナムの勉強が取り入れられ、壁新聞が作られました。

子どもたちが4人ずつのグループに分かれ、自分たちの町や生活をどう伝えればいいか考えて作った力作です。「ベトナムには雪がないから、雪のことを描こう！」とか、給食の紹介、近くの村岡山でとれるどんぐりの実やしいたけ、熊のこと、お掃除についてや、ベルマークを4コマ漫画で説明したコーナーなど、それぞれに工夫を凝らした記事が紙面を彩りました。



左)長谷川校長 右)安岡先生



長畝小学校 ラオスに文房具と寄附金を贈呈！

2月27日、国際交流クラブの子ども達が、全校児童に呼びかけて集まった募金と文房具の贈呈式が行われました。

集められた文房具は、えんぴつ(600本)、ノート(124冊)、消しゴム(158個)などダンボール4箱にもなりました。クラブでは、「ドンルアン小学校の友達と仲良くなろう！」と、ドラえもん「替え歌」でドンルアン小学校のことを全校に紹介したり、ポスターを描いたりと活動をしています。ラオスに関するクイズも自分たちで調べ、工夫して作りました。



国際交流クラブのみなさん



AEFA活動報告

＜福井＞ 福井県には、現在4校のフレンドシップ校があり、2007年度フレンドシップ校もいくつか決まり、交流の輪が広がっています。平章小学校前校長の松本先生を中心に、「AEFA福井支部」構想について話し合われました。

＜岩手＞ ベトナムのフーカンB小学校と交流している岩手県星山小学校の開校式に、フーカンB小学校の校長先生と教育庁関係者を、星山小学校を建設した大工さん達のカンパで招待する計画がすすめられています。



AEFA事務局からのお知らせ～

☆これまで会報だけでは、お伝えしきれなかった交流の記事を、『AEFA通信』として毎月お伝えすることになりました。皆さんの交流の様子をどんどんお寄せください。
☆AEFAでは、NPO法人申請を1月に東京都へ申請しました。5月に認可される予定です。
☆谷川理事長が3月5日からタイ・ベトナム・ラオスの出張に出ました。各NGOと話し合い、2007年度建設校・建設方針を決めてくる予定です。